

# 全国農政連推薦・農政連公認 参議院議員藤木しんやの

## 永田町でも百姓宣言

【令和7年通常国会開会】

令和7年1月24日に令和7年通常国会が開会となりました。今国会には、農林水産関連では、閣法4法案(土地改良法等改正法案、漁業災害法商法改正法案、森林経営管理法等改正法案、食品流通合理化・取引適正化法等改正法案)いわゆる、農産物の適正な価格形成法案(および議員立法?法案)山村振興法改正法案、棚田地域振興法改正法案)が提出される方向で調整されています。特に、適正な価格形成法案は、農業団体が強く要請してきた内容であり、改正食料・農業・農村基本法による施策の中でも非常に重要な法案となります。衆議院では自民党が少数与党となり、非常に厳しい国会運営となるのが想定されますが、農林部会長代理および参議院農林水産委員として積極的に携わり、今国会内にて無事に可決・成立できるように、尽力して参ります。

また、5年に一度見直しを行う食料・農業・農村基本計画の策定に向けて大詰めの段階です。基本計画の見直しに関連して、「酪農及び肉用牛生産の近代化を図るための基本方針(酪肉近)」および「品目別基本方針(果樹、花き、茶)」の5年に一度の見直しに向けた検討が行われます。畜産・酪農対策委員会事務局次長および野菜・果樹・畑作物等対策委員長として、最大限務めて参ります。

さらに、能登半島地震・大雨被害の復興をはじめ、各地で大雨や地震等の災害が被災した際の対応も重要です。

これらの様々な農政課題に対して、生産者が再生産可能となる所得の確保と基幹的農業従事者の減少下げ止めを目指す、唯一の専業農家出身議員として、全力で取り組んで参ります。

### 【藤木しんや農政セミナーを開催】

1月10日(金)に熊本県立劇場にて、「藤木しんや農政セミナー」を開催致しました。寒波襲来にもかかわらず、大変大勢の方にご参加いただきました。

開会前には、全国農政連顧問の東野ひでぎ氏にご挨拶をいただきました。

セミナーには、木村敬・熊本県知事、前川収・自民党熊本県連会長、西野太亮衆議院議員をはじめ多くの方々に来賓としてご挨拶およびご出席をいただきました。また、野村哲郎・参議院議員に特別講演をいただきました。

ご多忙の中、御参加・御支援・御協力をいただいた皆様、心より御礼申し上げます。今後も専業農家出身の国会議員として日々精進して参ります。



▲1月10日 藤木しんや農政セミナー

# 全国・農政連推薦 参議院議員山田としおの

## 農政問題に斬り込む 食料安全保障の強化に向け 知恵と努力を

近年、自然災害は、激甚化、頻発化しており、「数十年に一度の大雨」が毎年のように、全国のごくかで発生するといった「異常」が続いています。今年こそ、平穏な一年であってほしいものです。

いま、我が国は、農業従事者が急激に減少し、農地の減少とあわせて、農業生産基盤が弱体化しているほか、海外の農林水産物さえも他国に買い負けるようになりました。

このままでは、将来的に、国民への食料供給が困難になってしまいう可能性も否定できません。そのため、食料安全保障の強化や持続可能な農業・農村の実現をめざして、「農政の憲法」とも言われる「食料・農業・農村基本法」が、昨年5月、四半世紀ぶりに改正されました。今後5年間は、「農業構造転換集中対策期間」と位置付けられており、現在、基本法の理念を踏まえて、具体的な施策を定める「基本計画」の策定に向けた議論が行われています。農業者の皆さんが将来展望と希望を持って営農を継続できるような中長期的な政策とそれを裏付ける十分な予算措置が、何よりも必要です。

国内農業を持続可能なものとする

ためには、農地面積の維持と担い手の育成・確保が不可欠です。所得が実現できなければ、若い人は農業に魅力を感じてくれません。農業生産の省力化や効率化が必要であり、規模拡大や、機械化・スマート技術導入が求められるほか、適切な経営安定対策が必要不可欠です。

しかし、我が国の歴史的な農地の分散があるし、とりわけ、山間地の農地の状況は多くの制約があるわけであり、その改善に向け、農地の集積や、利用と所有の調整等の努力がなされていますが、容易ではありません。

もちろん、島国で、山が多く、傾斜地を抱える、我が国の国土の制約からして、各地の努力にもかかわらず、容易に進展させることが出来る状況ではありませんが、様々な工夫と、政策推進と、地域や自治体や農業者の工夫で、乗り越えてゆかねばなりません。さらなる農業者の知恵と努力が求められます。頑張ります。



▲富山県高岡市長と